

おれんじニュース

No263

2012年2月号



2011年12月11日 英彦山の霧氷

★集会・委員会のお知らせ★

	2012/2月	2012/3月	時 間	場 所
運営委員会	8日(水)	7日(水)	19:00~21:30	西諫早公民館
ひまわり集会	3日(金)	2日(金)	13:30~15:30	西諫早公民館
全体集会	22日(水)	21日(水)	19:00~21:30	西諫早公民館

..... 山行の一步は集会参加から





元越山に
登りました。



やっぱり
地球は
丸く見え
ないね～



小浜から
唐比まで
歩きました。



六角井戸



2012/2 月山行

部	技術研修部	山行部	ひまわり山行部	技術研修部
月・日	9(木)~12(日)	18(土)~19(日)	24日(金)	26日(日)
山名(行事)	鳥取大山	大崩山麓、落水の滝 鑑賞登山	諫早諫江 88ヶ所めぐり	<small>たかすやま</small> 高祖山(416m) <small>こうちやま</small> 高地山(419m) 叶岳(341m) 飯盛山(382m)
地 図		祝子川		福岡西南部
集合時間		諫早駅裏 7:00 西諫早駅 7:10	諫早駅裏 9:00	諫早駅裏 7:00 西諫早駅 7:10
難 易 度	冬山訓練 要冬山装備	冬山を歩く程度	ゆっくり歩き	初心者向きと 中級健脚コース有り
帰着時間		17:00	17:00	18:30
歩行時間		5h	3.5h~7h	4h~5h
交通手段	マイクロバス	マイクロバス	公共交通機関	マイクロバス or マイカー
宿泊施設	米子ビジネスホ テル	民宿大崩の茶屋	日帰り	日帰り
温 泉	有り	天然温泉美人の湯	有り?	?
参加費	35000円	15000円	交通費のみ	4000円
申込期限	定員になり次第	定員になり次第	随時	定員になり次第
集 約	佐原	田中	中村	佐原
備 考	県連の冬山訓練 に同行します。	氷曝はあちこちあ れど大崩の景色と 重ねて眺められる。	諫早で弘法大師 の足跡をたずね ます。	森林浴を楽しみなが ら低山のミニ縦走で す。福岡タワーやド ームも眺められる。
感想文提出	2/20	2/28	3/7	3/10



梅園の整備作業&交流会

日時：3月3日 西諫早駅9:00集合

持参品：弁当・草けずり道具

作業終了後、鍋会を行います。 申込み松園まで



3月山行計画

部	山行部	技術研修部	ひまわり山行部	技術研修部
月・日	10日(土)11日(日)	20日(火)祝日	30日(金)	3/31(土). 4/1(日)
山名(行事)	多良岳縦走マンサク鑑賞登山	金立山(501.8m) 佐賀県	森山町観桜会	蒜山高原・上蒜山 (1202m)
地 図	多良岳	広滝・佐賀北部		
集合時間	西諫早駅 10:00	西諫早駅 8:30	諫早駅前 8:30	JR 諫早駅裏 6:00 西諫早駅前 6:10
難 易 度	レベルに合わせて コースが選べます。	楽にのぼれます		
帰着時間	15:00	17:00	16:00	17:30
歩行時間	3.5h	2.5h	3.5h	4h~5h
交通手段	マイカー	マイカー	公共交通機関	マイクロバス
宿泊施設	金泉寺	日帰り	日帰り	
温 泉	平谷温泉		有り	
参加費	3000円	2500円	交通費のみ	16000円
申込期限	随時	定員になり次第	随時	定員になり次第
集 約	田中	佐原	中村	佐原
備 考	金泉寺泊をし、マンサク鑑賞しながら経ヶ岳へも登ります。	不老不死の薬草をもとめた徐福の伝説の残る山	桜だけでなく自然の緑が美しいでしょう。	オレンジはじめての山です。新緑を楽しみに。
感想文提出	3/20	3/28	4/10	4/12

技術研修部より

- 1月27日(金) セルフレスキュー (JR 西諫早駅 9:30 集合)
- 2月25日(土) セルフレスキュー (JR 西諫早駅 9:30 集合)
- 3月24日(土) セルフレスキュー (JR 西諫早駅 9:30 集合)



岸岳登山口の法安寺の拝殿所のお地藏様
「気は長く、心は丸く、腹立てず、口慎めば命長かれ」
とかいてありました。

12月/2012年1月の山行



12月9日（金）

小浜～唐比温泉ウォーキング

（参加者）：小山、佐藤、立野(外) 中村、松園、松尾(香)、中里

計7名

（感想）

島鉄バス8時54分発で諫早バスセンターを出発し、小浜には1時間ほどで到着しました。小浜バスセンターで弁当などの調達とトイレを済ませ、松園さんの指導のもと入念な準備体操をして、10時04分に歩行を開始しました。

昔は賑わっていたと思われる商店街を通り、まずは穎川入徳氏の碑がある傳明寺で安全祈願と記念撮影を行いました。境内の銀杏などが黄葉し、見事な背景となっていました。なお、入徳氏は、小浜温泉の湯治効果を住民に教え広めて、今日の温泉町の礎を作った人だと言われています。



曇天の風の強い日だったので、白波の立つ海の向こうに目的地を確かめながらの歩きでした。あまりに遙か向こうに見えたので、歩き通せるのかと不安な気持ちに襲われていたのですが、登山の装備や心構えなどを話して下さる先輩のお陰で気持ちは軽く歩けました。高校駅伝の像がある石合公園の前を通る時は、南京ハゼの紅葉を愛でました。やがて、車の多い道路を避けようとのことで海岸沿いの道路におり、岩を洗う波しぶきを浴びたり眺めたりの新鮮な感動の歩きが続きました。

10時55分頃には竿午前という男性を崇める遺跡？（見たかったなー…）を過ぎた辺りで小休止をとり、右手にアブラギクの咲く土手を見ながら歩き続けて11時20分に宮津と言うところでトイレ休憩をとりました。ここには、弘法大師が金剛杖で水の出る場所を教えたと言わる六角井戸があり、今でも住民の方が清掃をし大師を祀り大切に使用しておられました。そこから、宮津漁港の弁天公園に向かい、松と岩の美しい公園の中で昼食を摂ったのが11時45分でした。12時05分に出発し12時45分に木津浜駅プラットホーム跡に着く頃はポカポカ天気となっていました。5分休憩の後、歩き続けて13時25分には千々石海水浴場に到着し休憩をとりました。

千々石海水浴場をスタートして暫く歩いて行くと、軽トラックに流木を積んでいらっしゃる方に出会いました。彼は、10年以上にわたって流木を集めて五右衛門風呂の燃料にしているとのことでした。環境美化に貢献されると共に省エネにも貢献されて燃料費も浮かしておられるということで、まさに一石三鳥だなーと思いました。感心しながら、どんどん歩いて行くと唐比の集落に入りました。ゴールが近くなり僕らの話し声も高くなったのか、大き

な倉庫から同年配の男性が顔を出し、話しかけられました。事情を知った男性は「焼き芋ば食うて行かんね。」と、倉庫の中に引き入れて下さり鍋で焼いた石焼き芋を全員に御馳走して下さいました。きれいな紅い色をした甘い芋で元気百倍しました。思わず、四国の遍路さんにされる「お接待」という言葉が頭に浮かびました。瀨駅跡のあるところでしたが、先の流木拾いの方といい、この方といい、何と素晴らしい方々が住んでいらっしゃるのかと感心してしまいました。

こんな事があり、心も軽く身も軽くおまけに足取りも軽く唐比温泉センターに着いたのは15時30分でした。すぐに、バスの時刻を確かめたところ、入浴の時間はなく忘年会も控えているところから、遠く小浜を望む新観光百選の碑の前で記念撮影をし整理体操を済ませて車中の人となりました。

本当に、有意義な体験や知識を得た楽しいウォーキングとなりました。計画してリードして下さいました方、お疲れ様でありがとうございました。(中里 利行記)

12月10日(土)

元越山(581.5m)

—地球は丸かった?—

(参加者) 小山、川原、中須賀、中里、兵庫、松尾(敏)、川内、下釜、田中(静)、中村、林、林田、松園、森(寿)、山口、山下、國分 (17名)

(行程) 西諫早 6:10—諫早 I C—長崎自動車道—大分自動車道—東九州自動車道—津久見 I C—宮河内集落登山口着 10:50—下の地蔵 12:05—中の地蔵 12:30—元越山頂上 12:56—下山 13:35—色利集落登山口着 14:40

(感想) 彼の国木田独歩が感動し涙を流したと言われている風景を体感したくてこの山行を提案しました。長崎自動車道から大分自動車道を走ってきて車窓から見る万年山が薄ら雪化粧をしていた。

するとやっぱり、由布岳も雪に被われていて冬の山だった。

大分道は由布岳を回り込むように走っているのでぐるっと山容を眺める事が出来た。

車は更に東九州自動車道へと進み佐伯市へ。やはり遠い。

やっと宮河内集落着。



登山口には杖が多く置いてあり登山者が多いのであろう事を想像させられた。

登り始めての登山道は左右にシダが多く繁っていて迫ってくる感じでシダの海をかき分けているみたいだった。

シダ帯から抜けて尾根道へと進み「下の地蔵様」「中の地蔵様」を経て山頂まで後900m地点から100m毎の標識のカウントダウンがあり後もう少しだと頑張

れた。

すると、ひょいと山頂に到着。

低山であるが出発地点が低い位置からだったのでそれなりの高度差があり登りこんだ感じだった。

山頂からの眺めはまさしく 360 度の大展望で一等三角点にふさわしい山頂だった。

残念ながら地球の丸さを感じるには遠方が少しもわっとしていて良くわからなかった。

下山はガイドブックには記載されていないが色利集落への道を下る事になった。この道は集落の方々が整備されて案内の標識も設置してあり迷う事もない。

途中に数カ所展望所が設けてあり、米水津湾を眺めつつ下る。

色利登山口着。近くには立派な駐車場もあり地元の方々の想いを感じた。ミカンの振る舞いもあっておいしかった。帰路はいつもの事ながら賑やかなバスの中だった。

皆さん遠路はるばるお疲れ様でした。 (國分 記)

12月17日(土)

鬼の鼻山～聖岳～多久聖廟

(参加者) 川原、中須賀、兵庫、小山、松尾(敏)、中里、下釜、林田、林、田中(静)、山下、岩永(の)、川内、山口、田村、中野、金丸(直)、(17名)

(行程) 西諫早駅 8:30—諫早 I C—東彼杵 I C—鬼の鼻山憩いの森公園 10:25—鬼の鼻山頂上着 10:45—同発 10:55—聖岳着 12:00—昼食—同発 12:55—鬼の鼻山着 13:45 同発 14:00—憩いの森公園着 14:10—同発 14:40—佐用姫の湯着 15:15—同発 16:00—諫早着 17:50

(感想)



ツチ体操をして出発。約 5 分で「鬼の滑り台」に着く。ここからクヌギ林の落ち葉を踏みながら、なだらかな山道を歩き、「鬼の鼻山」山頂に着きました。山頂の展望は素晴らしく、360 度の展望でこれから歩く道がよく見えるし、また雲仙岳まで遠望できました。

厳しい寒さと雨天の予報がでていましたが、さほど寒くなく、また雨の心配もなく予定通り 17 名で出発しました。

高速自動車道の両脇の山茶花が美しく、また山々の景色もすばらしい眺めでした。多久で高速道路を降り「鬼の鼻山憩いの森」駐車場でストレ



まず、最初の展望所で説明をしてくださる K 氏

きれいに整備されて歩きやすい山道をのぼり、12時に聖岳の頂上に着き昼食をとりました。ここでの展望も素晴らしく、南側の眼下に遥かに見える六角川の幾重にも曲がりくねった流れは雄大で有明海に流れています。また雲仙岳をはじめ多良岳・経ヶ岳がぼんやり見えました。

帰りは行きと同じルートで駐車場に戻りました。ストレッチ体操をして、入浴で疲れをとり、帰路に着きました。途中、天山の山頂は、雪が降った？ように白くみえました。

今日の登山は、なだらかな山で山道は整備されて歩きやすく、また素晴らしい展望のできる山でした。ただ、時間の都合で儒学の祖で学問の神様ともいえる孔子様を祭る「多久聖廟」を見学出来なかった事は残念でした。運転手の皆さん本当に御苦勞様でした。ありがとうございました。(岩永ノリ子 記)

12月23日(金)

岸岳(鬼子岳) 320m

<参加者> 川原 坂口 中里 小山 山下 松園 山口 林田 中村 岩永 (10名)

<行程> 諫早 8:30→(東彼杵・波佐見・伊万里経由) 10:40 岸岳ふれあい館～法安寺 住職によるガイド 11:25→12:00 旗竿石→12:35 本丸(昼食)→13:15 姫落し岩・鬼子嶽末孫之碑→14:40 法安寺 15:00→17:00 諫早帰着

<感想>



岸岳は唐津市北波多と相知町の境にある320mの山である。標高は低いが、鎌倉時代松浦党の棟領であった波多氏の居城があった山で、山頂には多くの史跡が残されている。

登山口は波多一族の追善供養のために建てられたという法安寺の旧本堂横にある。

参拝してからスタートしようとしていると、寺の4代に当たる若い住職が、参道沿いの大岩に彫られた日本一の磨崖仏(釈迦涅槃像)や、新

四国八十八箇所霊場のご本尊等その他、点在する五百体に及ぶという石仏の由縁や寺の起こりを説明してくれた。境内一帯には桜、ツツジ、アジサイ、藤、蓮などが植えられており、花の時期の見事さが容易に推察される。

岸岳城址の表示に沿って山道に入ると、手すりや階段がついており歩き易い。10分程で最初の尾根に出、更に10分程で茶園の平に着いた。ここから左に



雑木林の急坂を登ると旗竿石である。城の物見場所であったというとおり、唐津方面や玄海灘が一望できた。

岸岳城址は東西 2 k m の稜線沿いに築かれた典型的な中世の山城である。旗竿石から南東に尾根が伸び、途中から東に向かう。尾根はゆるい「くの字形」になっている。三の丸堀切を経て三の丸、二の丸堀切、二の丸、古井戸、本丸跡と進みここで昼食を摂った。

稜線上でも本丸跡は流石に広く、樹林に囲まれた中央部だけ陽が当たっている。寒がり組みは弁当抱えてこの場所に移動した。



体が冷えないうちに最後の目的場所を目指す。本丸跡から 15 分で「姫落し岩」に着いた。ここは 100m を越す絶壁で、大岩の上から佐賀、伊万里方面が展望できる。

大岩下に「鬼子嶽末孫之碑」があり、傍に埋蔵金伝説の「抜け穴」もある。坂口さんが穴に下りて探検をしたが、埋蔵金らしきものは無かった由。

帰りは往路を戻る。途中「櫓台」という表示があったので、足を伸ばすと、立派な石垣跡が残っていた。川原説によると、石垣の岩は山から切り出したもので、里から担ぎ上げたものではないだろうとのこと。山城を作るには色々な条件が要るのだ。

法安寺に下山すると、元気印の中村・山下組は、八十八箇所巡りをしてみたいと境内の崖道を登って行ったので、居残り組は岸岳ふれあいの館で待機することにした。ここでも法安寺の房守さん（若住職の奥さんか？）にお茶をいただいた。お寺の方達の親切に触れた一日でもあった。岸岳は、豊臣秀吉に在らぬ嫌疑をかけられ没した、松浦党波多氏四百五十年の興亡を偲ぶ絶好のハイキングコースであり、法安寺は美しい花が咲き誇る時期にまた訪れてみたい場所である。

今年の納山に、歴史に富んだ興味深い山を企画していただき有難うございました。また配車していただいた中里さん、坂口さん運転お疲れ様でした。（松園）

1月1日（日）

初日の出参拝 御館山

（参加者）川原 福岡 兵庫 松尾(敏) 佐原 中村
田中（静）（7名）

7時丁度 集合場所の御館山広場東屋に着く。広場は参拝者用の臨時駐車場として解放され、整理員がいるが車は数台しかいない。川原さんを含め会員4人が集まっている。10分後会長が息せき切って駆けつける。6時半に貝津の自宅を出発したらしい。



大雪だった昨年に対し、今年は空一面どんよりと曇っていて日の出は拝めそうもない。しかし一応展望台へ向かってみる。展望台には、あきらめないで日の出を待つ人もいるがやはり少ない。

今日の日の出は見込みなしと早々に展望台傍のテーブルに陣取り、新年の挨拶と持ち寄りのおせちが披露される。下釜さんが差し入れの料理を持ってきてくれる。本人は来客のためすぐに下山するが中には刺身が入っている。

もう十年ほど昔になるが、日岳で初日を拝んだとき、当時の宮島会長が持参した大村湾の取れ取れナマコにダイダイ酢をかけて、美味しく酒を飲んだことが思い出される。

昨年に比べると風もなく寒さも厳しくないが、ガスストーブ2台に着火。暖をとりながら燗付けに使用する。冬は矢張り冷や酒よりも燗の付いた酒が美味しい。熱燗は五臓六腑にしみわたる。肴は刺身もある。刺身で飲めるとは最高だ。山の仲間と今年も元気に酒を酌み交わす事ができるのは幸せの一語につきる。

元会員の小宮さんや米田さんがつぎつぎと登って来る。この後は温泉行きとのこと。できればまたオレンジに復帰されて、一緒に山登りを楽しみたいものである。

米田さんが「佐原さんと途中で東屋の場所を教えておいた」との事であったが、なかなか佐原さんは来ない。もしかして東屋で待っているのだろうかと思い探しに行くが会えない。念のため神社下の東屋へも行ってみるが居ない。あきらめて戻る途中、車道を歩く佐原さんに幸運にもピンポイントで遭遇する。展望台を知らず、神社で20分ほども待っていたが、待ちくたびれて帰る途中だったらしい。ほんの少しずれても会えなかったであろうにグッドタイミングだ。……こいつは春から縁起がいいわい……。

大御所を迎える事もでき、今年の大きな山行や旅行についての計画・要望などでさらに盛り上がる。ついにはホラまで吹き上げるが、とうとう雲は切れなかった。残念。

9時から御館山神社で、今年の大雪山が無事故でありますようにと、全員で祈願し散会。

1月2日早朝、諫早郵便局へ用事で歩いて出かける。郵便局の帰り東の空が茜色に染まっている。時刻はまだ7時。今から御館山へ急げば、1日遅れだが初日の出を拝めるかも知れないと思う。時計との競争でやっと展望台傍のテーブルに到着。ギリギリ間に合う。

御館山ガールズが来ているかも知れないと思ったが姿は見えない。しかし帰途ガールズの一人下釜さんと会う。これから皆さん集まってくるのでしょうか。

…… 頼もしきかな御館山ガールズ …… 。 (兵庫 記)

7:00 広場の東屋集合。去年は大雪のため参拝客が少なかったが、今年は初日の出は見えないだろうとわかっているにもかかわらず車が次々とやってきた。とりあえず上の展望台に移動して初日の出を待つことに。時間になったが、やはり残念ながら雲に隠れて顔を見せてくれなかった。次なる宴の始まり。去年無事登山出来たことに感謝し、今年を安全を願ってカンパイ！！下釜さん、田中のおせち兵庫さんの角煮と美味しいお酒で話も弾む。今年もアルプスをはじめ去年以上に色々計画があり楽しみです。

皆さん、今年も日々体力つくりと健康に気を付けて、元気で山登りを楽しみましょう！

(田中 静香 記)

1月4日（水）

ヒメシヤラの女王を訪ねて

（参加者）山下 下釜 金丸 田中

今朝、御館山ウオーキングの時、山下さんから今日予定ないならヒメシヤラを見に行きませんかと声をかけられて、一も二もなくお願いして連れてってもらった。11月に同行したときは会えず残念な思いをしていたところ、その後見つけたとの話を聞いていたので、念願かない噂の主にやっとお目にかかることができた。

13：30 紅葉谷から前回と同じルートに登る。途中大岩のつららが美しかった。積雪が3cmほどあり、足元に注意しながら登る。目的の近くになると山下さんが私に先頭を行くようにと言ってくれたので、自分の目で探し見つけた！それはやはり見事だった。やっと会えた。女王を囲んで記念撮影。帰りは水神池経由で下り15：30着。

初登りは去年ほどではなかったが雪を踏み気持ちよかった。思いがけない山行が出来楽しかった。山下さんありがとうございました。（田中 静香）

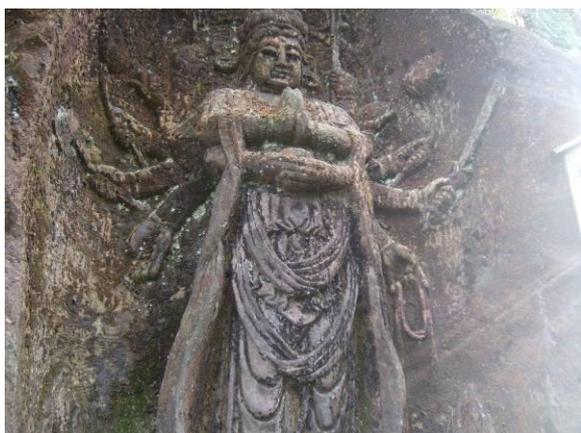


鬼の鼻山登山。久々に参加者が多かった。



聖岳頂上一列になったり階段に座ったり。





岸岳登山口法安寺の摩崖仏日本一の釈迦涅槃像



岸岳登山口の石仏、第八十八番薬師如来像

	おれんじニュースNo263
発行元	オレンジハイキングクラブ
発行責任者	福岡正廣
編集責任者 及び 原稿送付先	山下ちず子
発行年月日	2012.1.25
財政担当	
郵便振替講座	
ホームページ	http://orangehikingclub.web.fc2.com/

